

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 1 日現在

機関番号：14401

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2011～2014

課題番号：23650123

研究課題名(和文)マンガに関する人文・社会科学研究の国際的・学際的データベースの構築

研究課題名(英文) Developing an international and interdisciplinary database of Humanities and Social Science research on manga

研究代表者

家島 明彦 (IESHIMA, Akihiko)

大阪大学・教育学習支援センター・講師

研究者番号：00548357

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,800,000円

研究成果の概要(和文)：人文・社会科学の主要な学会誌等55誌4698冊分を調査し、従来の論文検索では見つけれなかったマンガに関する研究を399本「発掘」した。また、マンガに関する人文・社会科学研究の国際的・学際的データベースを構築した。結果、各学問領域に散在するマンガに関する研究知見の集約と体系的整理、国や学問領域を超えた人的交流や情報交換、当該分野における日本の主導権確立、という成果が得られた。

研究成果の概要(英文)：First, most importantly, through this project, the research on manga which had been scattered across academic discipline was organized systematically. This will promote comprehensive research on manga and the synthesis of the area through cooperation between different fields and specialties.

Second, the development of an online community facilitated communication and information exchange across the globe and bring together academics working in diverse disciplines across the cultural and social sciences. This will enable the education of young researchers, international interchange, and research dissemination.

Third, this project promoted the international standing of Japan through leading the initiative and establishing the new field of Studies in Cultural and Social Sciences on Manga. This is an important field to develop given the economic significance and cultural uniqueness of manga to Japan.

研究分野：心理学

キーワード：マンガ 人文・社会科学 学際的 国際的 データベース 漫画 コミック アニメ

1. 研究開始当初の背景

研究開始当初において既に日本のマンガは世界中に普及していた。『出版指標年報2010』によれば、国内のマンガの推定販売金額は4187億円、推定販売部数は10億5844万冊であった。また、『日本と世界のコンテンツ市場データベース2009』によれば、海外のマンガ市場は推定約1200億円であった。こうした日本マンガの世界的普及を背景に、外務省が2007年に国際漫画賞を創設するなど、政府が国をあげて海外における日本マンガ人気を活かした国際交流事業(文化外交)を展開していた。

経済・政治の面で日本のマンガが注目を集める中で、学術の面でも日本のマンガに関する研究が増えてきていた。マンガ作品の多様化・複雑化(量的増加・質的向上)に伴うマンガ読者層の拡大を背景に、近年マンガやマンガ読者に関する学術的な研究は増加傾向にあることが指摘されていた(家島,2007)。研究開始当初の時点で科学研究費補助金データベースにおける漫画/マンガに関する研究課題は170を超えていた。

しかし、人文・社会科学系を中心としたマンガに関する諸研究の知見は、各学問領域に散在している状態であり、マンガに関する研究が体系的に整理されて学際的に相互参照されているとは言い難い状況であった。

マンガやマンガ読者に関する研究は日本が世界に先駆けて“輸出・発信”できる分野であり、国内外における先行研究知見の集約は、国際的・学術的に重要であり急務である(家島,2007)にもかかわらず、政治・経済的な輸出・発信に比べて、学術的な輸出・発信は立ち遅れていた。

そこで、日本のマンガに関する研究・教育拠点をオンライン上に形成し、マンガに関する研究の国際的・学際的データベースを構築するプロジェクトを企画することにした。

2. 研究の目的

本研究の目的は、マンガに関する人文・社会科学の国際的・学際的データベースを構築することである。また、そのことを通じて居住地や専門領域を越えた国際的・学際的な研究共同体を構築し、マンガに関する研究の国際研究教育拠点を形成することである。具体的には、以下の3つを目的としている。

目的 : 各学問領域に散在するマンガに関する研究知見の集約と体系的整理〔=分野間・専門間の協働による統合的研究の推進, 研究基盤の整備〕

目的 : 国や学問領域を超えた人的交流や情報交換〔=若手研究者の育成, 国際的な交流・発信の推進〕

目的 : 当該分野における日本の主導権確立〔=世界に先駆けた研究分野の創成〕

3. 研究の方法

方法 : 悉皆調査 目的 に対応

研究代表者が中心となって設立した、日本マンガ学会の若手研究者ネットワーク部会(YARN: Young Academics Research Network)の有志数名(心理学・社会学・教育学・歴史学・児童文学・ジェンダー研究などを専門とする若手研究者)でプロジェクト・チームを立ち上げ、各自の専門とする学問領域における主要な学会誌を抽出・選定し、マンガに関する研究論文があるかどうか調査し、文献リストと報告書を作成した。

具体的には、学会誌を手にとって実際にめくりながら本文を目視確認し、「マンガ」の文字が出てこないか、関連する内容を扱っていないか、悉皆的に調査した。そして、見つかったマンガに関する研究論文を学問領域ごとに整理し、概観と展望を簡易レポートにまとめた。

方法 : データベース化 目的 に対応

見つかった論文情報をデータベース化し、オンライン共有と国際化を試みた。

具体的には、学術論文の管理とオンラインでの情報共有を目的とした無料の文献管理ツールMendeleyでデータベース構築を試みた。(当初は国立情報学研究所が開発しているNetCommons 2上で動作するリポジトリモジュールWEKOを使った純国産の文書管理システムの使用を検討していたが、紆余曲折を経て最終的に、国際的に広く利用されているMendeleyを使用することになった)。また、プロジェクトの題目、目的、計画を多言語に翻訳し、プロジェクトの国際展開を試みた。

方法 : 成果発信 目的 に対応

研究成果を雑誌論文、学会発表、図書などの形で世界に向けて発信した。

4. 研究成果

成果 : 悉皆調査 目的 と方法 に対応

人文・社会科学における各学問分野の主要な学会誌・ジャーナル・関連雑誌(メンバーの専門分野である心理学、社会学、教育学、ジェンダー研究、歴史学、日本文学、英文学、児童文学から抽出した合計55誌)の4698冊分を調査した結果、399本の論文と779本の関連論文(アニメ、ゲーム、絵本、ポップカルチャー、少年少女雑誌など近接領域を扱っている論文、マンガそのものを扱うわけではないが研究内容がマンガ研究に応用できそうな論文、一言だけ「マンガ」という文字が出てくるだけの論文など)が見つかった。

399本の内訳は、心理学領域104本、社会学領域82本、教育学領域56本、ジェンダー研究領域57本、歴史学領域5本、日本文学領域31本、児童文学領域64本であった。

学会誌を1ページずつ手でめくりながら目

視確認するという地道な作業によって、従来の論文検索では見つけられなかった「マンガに関する研究」を学問領域横断的に約 400 本も「発掘」したことは意義があるだろう。今後、各学問領域においてマンガに関する研究が発展し、海外に輸出できる日本初の研究領域が開拓されるために必要な基礎資料の提供に貢献できたと考えている。

程度の差はあれ、領域ごとに隠れたマンガ研究業績が存在することが明らかとなった。学会誌を実際に 1 ページずつめくりながら目視確認する作業が予想以上に時間のかかる作業であったこと、当初の想定よりも多くのマンガ研究が見つかったこと、などの理由から計画通りには進まなかった。今後も継続的に調査したり新たな学会誌を追加したりしながらプロジェクトを継続・発展させていくための予算確保が今後の課題である。

成果 : DB化 目的 と方法 に対応

文献リストの共有が可能な Mendeley で「人文・社会科学におけるマンガに関する研究の国際的・学際的データベース」のプラットフォームを構築した。悉皆調査によって発見された論文情報は随時 Mendeley に入力されている。さらに、扱われているマンガ作品やマンガ家や登場人物などの名前を独自タグで追加することにより、特定のマンガを扱う研究論文の検索が可能となった。

プロジェクト名は、日本語を含めて 9ヶ国語に翻訳された。日本語(マンガに関する人文・社会科学の国際的・学際的データベースの構築)、英語(Developing an international and interdisciplinary database of Humanities and Social Science research on manga)、中国語(为国际及跨学科研究开发的人文及社会科学漫画资料库)、韓国語(

), イタリア語(Sviluppo di un database interdisciplinare e internazionale della ricerca delle Scienze Sociali e delle Discipline Umanistiche sul manga)、スペイン語(Desarrollo de una base de datos internacional y interdisciplinaria de la investigacion de las Ciencias Sociales y de Humanidades sobre el manga)、ドイツ語(Entwicklung einer internationalen und interdisziplinären Datenbank zur Erforschung von Mangas aus geistes- und sozialwissenschaftlicher Perspektive)、フランス語(Développer une base de données internationale et interdisciplinaire de recherche en sciences humaines et sociales sur les manga)、ロシア語(Разработка международной междисциплинарной базы данных гуманитарных и социальных исследований в области японских комиксов)、また、本プロジェクトのメンバーが研究期間内にそれぞれ就職(2名)、科研費採択(2

名)、日本マンガ学会の理事当選(2名)、マンガに関する博士論文執筆(2名)、マンガ研究者マッピング事業の担当(2名)などを果たし、本プロジェクトが当初に想定していた教育効果(若手研究者の育成)も達成できたと考えている。

成果 : 成果発信 目的 と方法 に対応
研究成果を国内外で発表した。その内訳は、雑誌論文 23 件(うち英語論文 1 件)、学会発表 39 件(うち国際学会 11 件)、図書 10 件(うち翻訳 3 件)であった。国内外へのインパクトは大きかったと考えている。(詳細は 5 . 主な発表論文等を参照)

<引用文献>

家島 明彦 . 2007 . 心理学におけるマンガに関する研究の概観と展望 . 京都大学大学院教育学研究科紀要 , 53 , 166-180 .

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/43999>

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 23 件)

金澤 宏明 . 2015 . 画像資料と歴史学 邦語研究の研究動向と史料批判の「共有地」と「共有知」 . 立教アメリカン・スタディーズ , 37 , 81-101 .【査読無】(依頼論文)

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/IAS/ras/37/kanazawa.pdf>

西原 麻里 . 2014 . 美少年の系譜 男×男 マンガにおけるキャラクターの変遷 . 二十世紀研究 , 15 , 1-25 .【査読有】

<http://ci.nii.ac.jp/naid/40020338417>

池上 賢 . 2014 . メディア経験とオーディエンス・アイデンティティ : 語り・パフォーマンス・エスノメソドロジー . マス・コミュニケーション研究 , 84 , 109-127 .【査読有】

<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009688801>

Hata, M. & Ieshima, A. 2014. A Transdisciplinary Approach to Comics: an Overview of Journal Articles on Comics in Japanese Gender Studies. Annual Journal Faculty of Letters Hanazono University, 46, 69-88.【査読無】

<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009821536>

石川 優・東 園子・西原 麻里・杉本 = バウエンス ジェシカ・木下 衆 . 2013 . やおい/BL を研究する 方法論とディシプリン . 都市文化研究 , 16 , 116-125 .【査読有】

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/UCRC/wp-content/uploads/2014/03/p116.pdf>

池上 賢 . 2013 . 社会学におけるマンガ研究の体系化に向けて データベースによる先行研究の整理・検討から . 応用社会学研究 , 55 , 155-174 . 【査読無】
<http://ci.nii.ac.jp/naid/120005275669>

玉田 圭作 . 2012 . 文脈とマンガの表現形式が読み方略に与える影響 . 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 , 73 , 15-28 . 【査読有】
<http://ci.nii.ac.jp/naid/120005255696>

〔学会発表〕(計39件)

Ieshima, A. Developing an international and interdisciplinary database of Humanities and Social Science research on manga. NNCORE (The Nordic Network for Comics Research) conference 2013. [May 25, 2013 in Helsinki (Finland)]

Ieshima, A. Does comic studies need to be interdisciplinary? NNCORE (The Nordic Network for Comics Research) conference 2013. [May 25, 2013 in Helsinki (Finland)]

Hata, M. An overview of comics studies in Japanese Gender studies. NNCORE (The Nordic Network for Comics Research) conference 2013. [May 24, 2013 in Helsinki (Finland)]

家島 明彦・池上 賢・秦 美香子・西原 麻里・足立 加勇 . 社会学におけるマンガに関する研究の概観と展望(1)―社会学領域―第85回日本社会学会大会 . [2012年11月3日 於 札幌学院大学(北海道・札幌市)]

池上 賢・秦 美香子・西原 麻里・家島 明彦・足立 加勇 . 社会学におけるマンガに関する研究の概観と展望(2)―メディア研究領域― . 第85回日本社会学会大会 . [2012年11月3日 於 札幌学院大学(北海道・札幌市)]

秦 美香子・西原 麻里・家島 明彦・池上 賢・足立 加勇 . 社会学におけるマンガに関する研究の概観と展望(3)―ジェンダー研究領域― . 第85回日本社会学会大会 . [2012年11月3日 於 札幌学院大学(北海道・札幌市)]

西原 麻里・家島 明彦・池上 賢・秦 美香子・足立 加勇 . 社会学におけるマンガに関する研究の概観と展望(4)―子ども・教育社会学領域― . 第85回日本社会学会大会 . [2012年11月3日 於 札幌学院大学(北海道・札幌市)]

池上 賢・金澤 宏明・雑賀 忠宏 . マンガに関する学術研究の体系化に向けて . 日本マンガ学会第12回大会 . [2012年6月23日 於 明治大学(東京都・千代田区)]

〔図書〕(10件)

池上 賢 他 , 現代書館 , 『アニメ研究入門 アニメを究める9つのツボ 増補改訂版』, 2014 , 254頁(149-172)

秦 美香子・池上 賢・雑賀 忠宏 他 , 臨川書店 , 『マンガジャンル・スタディーズ』, 2013 , 293頁(133-162, 192-219, 220-258)

〔その他〕

「マンガに関する人文・社会科学研究的国際的・学際的データベースの構築」
Mendeley ページ

<https://www.mendeley.com/groups/3848571/papers/>

「マンガに関する人文・社会科学研究的国際的・学際的データベースの構築」
Facebook ページ

https://www.facebook.com/manga_research_database

6 . 研究組織

(1)研究代表者

家島 明彦 (IESHIMA, Akihiko)
大阪大学・教育学習支援センター・講師
研究者番号 : 00548357

(2)研究分担者

玉田 圭作 (TAMADA, Keisaku)
慶應義塾大学・文学部・講師
研究者番号 : 60727923

金澤 宏明 (KANAZAWA, Hiroaki)
明治大学・文学部・兼任講師
研究者番号 : 40550976

柊 和佑 (HIIRAGI, Wasuke)
稚内北星学園大学・情報メディア学部・講師
研究者番号 : 80530659

(3)研究協力者

秦 美香子 (HATA, Mikako)
池上 賢 (IKEGAMI, Satoru)
西原 麻里 (NISHIHARA, Mari)
石川 優 (ISHIKAWA, Yu)
岡部 拓哉 (OKABE, Takuya)
雑賀 忠宏 (SAIKA, Tadahiro)
足立 加勇 (ADACHI, Kayuu)
想田 充 (SOUDA, Mitsuru)

Brent Alison
Takuya Yanagida
Nubia Tognoni
Bernard Sarpa
Carol POON Man Wai
Kim Sowon
Jimmy Baraglia